

令和4年播種（令和5年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔3月20日調査結果〕

* 幼穂長は3月17日に調査を実施

1. 気象概況〔2月下旬～3月中旬〕(図1)

- 平均気温は、平年より高く推移した。
- 降水量は、2月下旬～3月上旬は0mmだった。3月下旬には降水があったが、平年よりも少なかった。
- 日照時間は、3月上旬は平年より長く、それ以外の期間は平年並だった。

2. 生育概況

1) 3月20日現在の生育状況（表1）

10月中旬播種区

- 草丈は、大麦が平年より長く、小麦は平年並～平年よりやや長かった。
- 茎数は、大麦・小麦ともに平年よりやや多い～多かった。
- 葉数は、大麦・小麦ともに平年並～平年より多かった。

10月下旬播種区

- 草丈は、大麦・小麦ともに平年より長かった。
- 茎数は、大麦・小麦ともに平年より多かった。
- 葉数は、大麦・小麦ともに平年より多かった。

2) 3月17日現在の幼穂長及び幼穂分化程度（表2）

10月中旬播種区

- 大麦の幼穂長は、平年より長く、生育ステージは平年よりも早く経過している。
- 小麦の幼穂長は、平年より長く、3月上旬に幼穂形成始期を迎えた。生育ステージは平年よりも早く経過している。

10月下旬播種区

- 大麦の幼穂長は、平年より長く、3月上旬に幼穂形成始期を迎えた。生育ステージは平年よりも早く経過している。
- 小麦の幼穂長は、平年より長く、3月中旬に幼穂形成始期を迎えた。生育ステージは平年よりも早く経過している。

3. 栽培管理の状況

- 2回目の踏圧を3月上旬に実施した。
- 2月下旬に大麦の中旬播種区、3月中旬に小麦の中旬播種区と大麦の下旬播種区で幼穂形成期追肥を実施した。
- 3月下旬に小麦の下旬播種区で幼穂形成期追肥の実施を予定している。

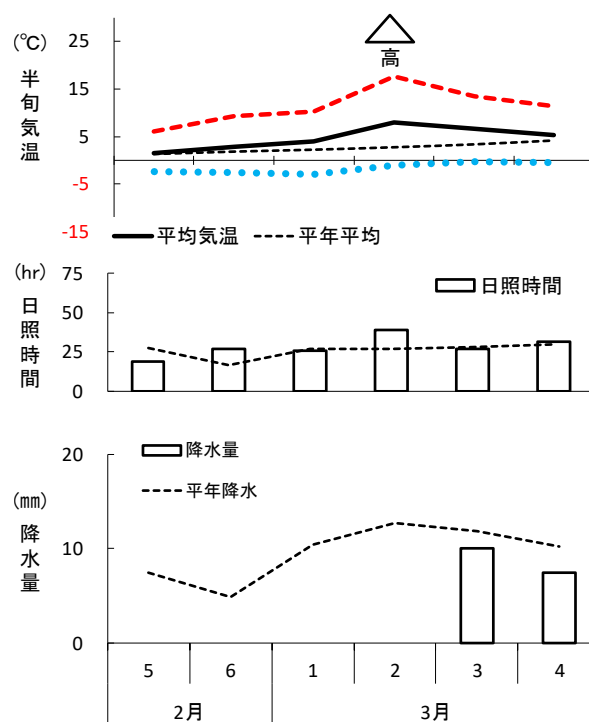


図1 気象経過 古川アメダス

表 1 生育状況

品種	区別	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			
		本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差	
大麦	シュンライ	中甸播種区	15.9	147	118	1008	102	107	8.4	+2.0	+1.1
		下甸播種区	11.8	157	131	903	154	119	7.1	+1.7	+1.2
	ミノリムギ	中甸播種区	15.7	133	115	1155	113	118	8.6	+2.2	+0.9
		下甸播種区	13.1	162	129	956	137	128	6.9	+1.0	+0.6
小麦	シラネコムギ	中甸播種区	15.5	134	104	1041	111	114	7.7	+0.5	-0.1
		下甸播種区	15.7	196	142	1215	161	163	7.6	+1.7	+1.1
	夏黄金	中甸播種区	13.7	146	114	1103	147	114	8.4	+1.3	+1.1
		下甸播種区	12.5	160	138	722	156	116	7.4	+1.5	+1.4

注1) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 「夏黄金」の中甸播種区は平成 28 年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 下甸播種区は平成 29 年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

表 2 幼穂長及び幼穂分化程度

品種	区別	幼穂長(mm)			幼穂分化程度	幼穂形成始期			
		本年	前年差	平年差		本年(月日)	前年(月日)	平年(月日)	
大麦	シュンライ	中甸播種区	4.8	+2.8	+1.9	X	1/5	2/26	2/1
		下甸播種区	2.6	+1.4	+0.8	IX	3/2	3/14	3/6
	ミノリムギ	中甸播種区	3.4	+1.6	+0.8	IX	1/14	3/2	2/12
		下甸播種区	2.3	+1.2	+0.5	IX	3/2	3/16	3/7
小麦	シラネコムギ	中甸播種区	2.3	+1.4	+0.9	IX	3/6	3/24	3/7
		下甸播種区	1.6	+1.3	+0.9	IX	3/11	3/30	3/23
	夏黄金	中甸播種区	2.7	+1.9	+1.4	IX	3/4	3/26	3/10
		下甸播種区	1.7	+1.3	+0.9	IX	3/11	3/30	3/24

注1) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 「夏黄金」の中甸播種区は平成 28 年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 下甸播種区は平成 29 年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注4) 幼穂形成始期: 幼穂長1mm に達した日。

〔参考〕麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期			穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0

注1) 幼穂分化程度は I ~ X の 10 期に分類されるが、V 期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密には VII 期は前期と後期に、IX 期は前期、中期、後期に区分される。

表3 減数分裂期，出穂期，開花期の本年予測値

品種名	区分	減数分裂期			出穂期			開花期		
		予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)
大	シュンライ 中甸播種区	4/12	4/16	4/16	4/21	4/27	4/25	4/29	5/4	5/2
	下甸播種区	4/19	4/22	4/20	4/27	5/1	5/1	5/3	5/6	5/8
麦	ミノリムギ 中甸播種区	4/17	4/23	4/20	4/27	5/1	4/29	5/3	5/5	5/5
	下甸播種区	4/21	4/24	4/23	4/30	5/4	5/5	5/5	5/7	5/10
小	シラネコムギ 中甸播種区	4/18	4/26	4/26	4/30	5/7	5/5	5/11	5/15	5/15
	下甸播種区	4/21	4/27	4/28	5/2	5/8	5/9	5/13	5/18	5/18
麦	夏黄金 中甸播種区	4/18	4/27	4/27	4/28	5/8	5/6	5/9	5/15	5/15
	下甸播種区	4/22	4/29	4/28	5/1	5/9	5/8	5/12	5/17	5/17

注1) 中甸播種区の平年値は、過去7か年中の最高値と最低値を除いた5か年分の平均値。

注2) 「夏黄金」の中甸播種区は平成28年播種から、供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注3) 下甸播種区は平成29年播種から供試のため、平年値は過去5か年の平均値。

注4) 減数分裂期: 幼穂長が3cmに達した日。

注5) 出穂期: 全茎の40～50%が出穂した日。

注6) 開花期: 全穂数の40～50%が開花した日。

注7) 予測値は予測シート ver4.0 を用いた値。